



うれしいお電話が



昨日、学校へうれしいお電話がありました

先週、本校の低学年児童らが雨の日、歩道を横断しようとする車があり停止させて渡った後、児童は運転手さんにお礼のあいさつを返したそうです。

その車の運転手さんはそれがとてもうれしくて、うれしくて学校にお電話を差し上げたということでした。

本校では「あいさつ勝負」ということばがあります。そのことばは真地っ子は誰でも唱えることができます。学校で教えてもらったこと、あるいは親御さんや家族に教えてもらったことが自然にあらわれたのかもしれない。

あらためて、あいさつの力ってすごいなと思いました。ひとつのあいさつが、見ている人を喜ばせ、家庭を、学校をそして地域を明るくする力になるんだなと思いました。

また、お電話してくださった方へ感謝申し上げます。遠くから地域の方がいつも見守ってくださっているんだ、真地小を応援してくださっているんだという安心感のような気持ちでいっぱいになりました



職業人講話

2/22 6年生児童に向けた職業人講話が開催されました。

南極での体験談やNHKキャスターのことば、病院業務の内容や消防士の使命等、4名の講師にお話をしてもらいました。

子ども達は、自分の将来の姿に重ねながら、一生懸命にお話を聞いていました。



PTA作業



2/18 PTA作業を行いました。

学年末の教室内の大清掃を親子で行いました。子ども達がふだん手の届かない、扇風機や高窓等の高所作業が中心でした。

子どもを成長させてくれた教室に感謝を込めて、ピカピカとキレイにしました。ありがとうございました、おとうさん、おかあさん、そしてPTAのみなさん。